

システム開発評価・危機管理センターの概要



航空交通管制情報処理システムは、航空の安全に直結する運用業務を支援しており、極めて高い信頼性が求められる。

新規システムの開発や運用中のシステムに対するプログラム改修や機能向上は、運用業務に支障を与えることなく、かつ限られた期間の中で迅速に確実にを行うことが求められる。このため、運用業務を理解している職員がプログラム評価を実施することで、システムの信頼性向上を図っている。

また、航空交通管理センター等における被災やシステム障害等は、航空機の運航に多大な影響を及ぼすことになる。

システム開発評価・危機管理センター(SDECC: Systems Development, Evaluation and Contingency Management Center)は安全で効率的な運航というニーズに応え、リスクに備えるため、開発・評価・運用支援並びに危機管理に関する業務を実施している。(所在地:大阪府池田市)

